

6年

算数

考え方のくふう

6年 組

名前

① ツルとカメが集まりました。頭の数を数えると10個ありました。足の数を数えると28本ありました。ツルは何羽、カメは何びきいますか。表の空いているマスに数を書いて、答えを出しましょう。



ツルの数(羽)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
カメの数(ひき)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
足の数(本)	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40

答え (ツル 6 羽 ・ カメ 4 ひき)

② 縦・横・ななめの3つのどの数をとしても15になるように、1・2・3・5・6・7を空いているマスに入れましょう。

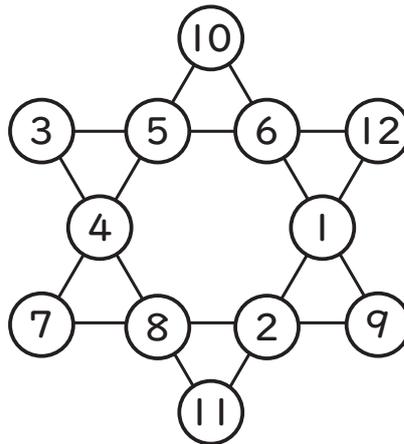
4	9	2
3	5	7
8	1	6

8の横のマスに入る数を、 $15 - 8$ で考えると、残った数で組み合わせるのは…。

自分でも問題を作ってみてね。



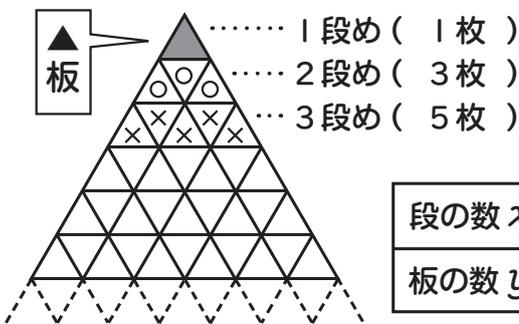
③ ○の中に、1・2・4・5・6・8の数をに入れて、直線上の4つの数の和がどれも等しくなるようにしましょう。



最初は大きい数の近くに小さい数を入れてみるといいね。



④ 図のように正三角形の板を並べていきます。①～③に答えましょう。



①段の数を x 段め、板の数を y 枚として、下の表に数を書きましょう。

段の数 x (段め)	1	2	3	4	5	6
板の数 y (枚)	1	3	5	7	9	11

式がわかると数が大きくなっても答えが出せるね。



② 段の数 x と板の数 y の関係を表す式です。□に数と $x \cdot y$ を書きましょう。

$$1 + \boxed{2} \times (\boxed{x} - 1) = \boxed{y}$$

③ 25段めに並ぶ板の数は何枚ですか。

式 [$1 + 2 \times (25 - 1) = 49$]
 答え (49 枚)